

事業所名

運動療育型児童デイ メイト

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

R6 年

12 月

14 日

法人（事業所）理念		笑顔をはぐくみ笑顔をつなぐ			
支援方針		マット運動や鉄棒などの運動療育を通じて身体能力の向上、健康な身体作り、日々の療育の中でコミュニケーション能力の向上、ルールを守るなどの社会性、協調性を養う支援を行います。			
営業時間		平日 PM12 時 00 分から PM18 時 00 分まで 土祝 長期休暇 AM9 時 30 分から PM15 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	日々、食事面や健康面に対する助言を保護者様を通じて行っている。 また定期的な換気、空調の調節、児童に対し手洗い、うがいの励行、確認を行い感染症対策を行っている。 お箸の持ち方やトイレトレーニング、食事マナーなどの生活スキルが身につけていけるように支援を行う。			
	運動・感覚	障がい者スポーツ指導員が在中しており鉄棒やマット運動などのお子様一人一人に合わせたプログラムを提示し取り組んでいただき、 運動能力向上や姿勢保持に役立つ筋力増強に関する支援を行います。 また活動内で制作やねんど遊びなどを通じて手先の器用さや感覚を養う			
	認知・行動	約束唱和や体操などのルーティン活動を取り入れ見通しを持って自身の行動を認知し行動に移せるように療育を行う。 シーン別で良い行いや悪い行いのロールプレイングを見てもらい、良い行動を実際に実行してもらえるよう療育を行う。			
	言語 コミュニケーション	日々の活動内で各場面や相手側の状況別での適切な言葉、不適切な言葉（ふわふわ言葉、ちくちく言葉）を選ぶレクリエーションを設け、徐々に適切な言葉使いが出来るように支援を行います。また発語の遅れが見られる児童に対し、挨拶や絵本の読み聞かせなどその児童にあった療育内容にて発語の促しを行っていく。 他児童の輪に円滑に入れるよう指導員が介入しコミュニケーション力を養うよう促す。			
	人間関係 社会性	他児童とのトラブル時は指導員が介入しそれぞれの児童の話を傾聴し、どのように対処すればよいのかを学び人間関係を円滑なものにしていく。 また挨拶や社会的なルールを守るなど日常生活に必要な社会スキルを促し実行していけるよう促す。			
家族支援		子育てや障害特性に対する保護者の相談を送迎時や保護者面談を通じて行い、児童と保護者の良好な関係を気づく橋渡しを行っている。	移行支援	定期的にグループ内の生活介護事業所や就労継続支援B型事業所への体験会を行い障害福祉サービスへスムーズに移行出来るよう促している	
地域支援・地域連携		事業所近くの公園や道路の掃除（クリーンアップ）地域の公共施設を利用し児童、保護者、関係機関が取れる環境づくりを行っている。	職員の質の向上	職員の支援力向上や知識獲得の為の事業所内研修を開き、外部研修にも定期的に参加しています 制度や障がいの知識などの定期的な理解度テストを行っている。	
主な行事等		パラスポーツ大会 サッカー大会 白ゆり祭り 調理実習 農業体験 作業所体験 遠足 事業所参観 季節に合わせた行事（お花見、夏祭り プール遊び クリスマス会など）			